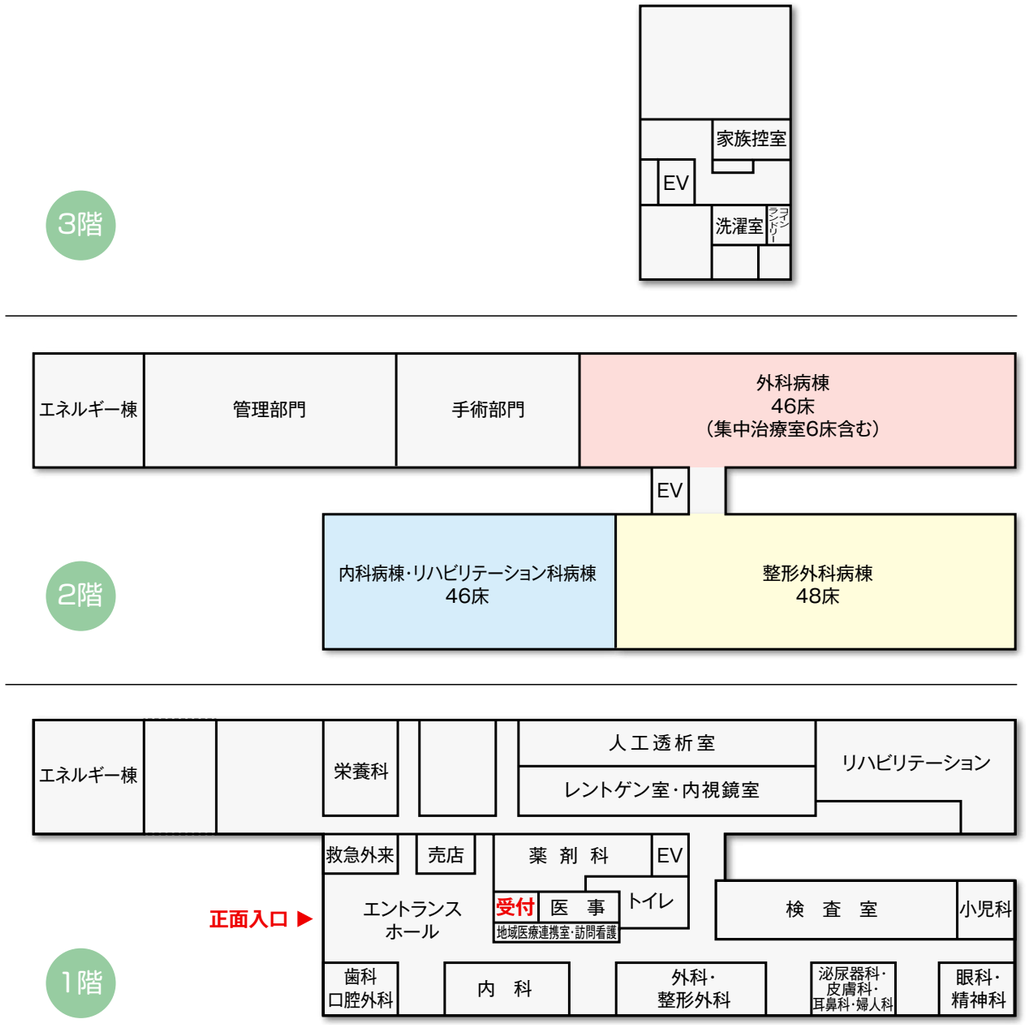
フロア図



南魚沼市民病院

〒949-6680 新潟県南魚沼市六日町2643番地1
TEL 025-788-1222　FAX 025-788-1231

“地域医療の伝統”と“その人らしい生活”を支える医療を南魚沼全域に

平成27年11月1日
南魚沼市民病院開院

理念

私たちは、自然のうるおいの中で、
人それぞれの希望に満ちたくらしを支え、地域医療を推進します。

新潟県南魚沼市

市民と歩む南魚沼市民病院

南魚沼市民病院の開院により、当地域の医療再編は完結となりました。開院までにご尽力いただいた全ての皆様に、改めて感謝を申し上げます。高齢化社会が進む中で、市民の関心は安心できる医療・介護環境にシフトしております。南魚沼市民病院が、患者や家族に寄り添った医療を提供できる病院となり、必ずや市民の期待に応えてくれるものと信じております。行政、患者、家族、地域ボランティア、そして市民全員で、新たなスタートを切ったこの病院を支え、育てていこうではありませんか。

南魚沼市長　井口　一郎

南魚沼市が目指す地域（包括）医療

平成27年11月、今までの「ゆきぐに大和病院」は「南魚沼市民病院（旧六日町）」と新「ゆきぐに大和病院（旧大和町）」の2つに分かれましたが、今までと同様、市民の皆様の安心・安全を地域（包括）医療の面から全力で支えて行きたいと思っております。なお、私たちが実践している地域（包括）医療とは、病院の中で患者さんを待つだけの受け身の医療でなく、地域に出て皆様の生活全体を見守り・併走するアクティブなものですが、今後は健康寿命の延長を目指した健康増進・疾病予防事業と、尊厳ある人生の最終段階の支援事業を加えた、トータルライフ（命・生活・人生）をサポートする医療の実現を目指したいと思っています。

南魚沼市病院事業管理者　宮永　和夫

南魚沼市民病院開院　～南魚沼市民病院の役割～

南魚沼市民病院は、「ゆきぐに大和病院」が目指して来た地域医療を実践するための病院です。市民、福祉、保健、開業医、そして市民病院が連携して、市民の健康を守るのが市民病院です。昨今の社会情勢では、医師や看護師、薬剤師の確保は大都会でも難しい状況です。市民のための病院ではありますが、市民病院も医療スタッフには限りがありますので、コンビニエンスストアーのような利便性を求めないでください。今、この地域で働いてくださっている医療関係者を、最大限かつ長期的に活用するためには、皆様の絶大なるご協力とご理解をお願いする次第です。急性期疾患、重症患者は基幹病院にお願いし、その後の長期的な医療を行うのが市民病院の役割であると考えております。

南魚沼市民病院長　田部井　薫

設計の基本コンセプト

- 利用者にわかりやすく、優しい病院
- 雪国の特性に配慮し、ユニバーサルデザインを積極的に使用した病院
- アメニティが高く、地球環境に配慮した病院
- 在宅医療に取り組み、保健・医療・福祉の連携を目指す病院
- 地域に必要な医療を提供できる病院
- 教育、研修に取り組み、地域医療の担い手を育てる病院
- 職員が働きやすく、経営健全化に取り組む病院

病院概要

名　　称　南魚沼市民病院
所 在 地　新潟県南魚沼市六日町2643番地1
病 床 数　一般病床　140床
構 造 等　敷地面積　9,661㎡
建物構造（病院本体）　地上3階、鉄骨造
建築面積　6,950㎡
延 面 積　12,866㎡

手術室

80列 マルチスライスCT

リハビリセンター

診療科目（全25科）

内科・精神科・神経内科・循環器内科・呼吸器内科・外科・消化器内科・消化器外科・肛門外科・整形外科・形成外科・小児科・婦人科・眼科・皮膚科・泌尿器科・耳鼻いんこう科・歯科・歯科口腔外科・小児歯科・リハビリテーション科・放射線科・リウマチ科・麻酔科・腎臓内科

外　　来

診 療 日　月曜日から土曜日
（休診:土曜日の午後、第3月曜日、日曜日、祝日、年末年始）
受付時間　午前　8:30～11:00
午後　1:00～3:00
（診療科ごとに異なる）

入　　院

1 病 棟	外科病棟 （内集中治療室6床）	46床
2 病 棟	整形外科病棟	48床
3 病 棟	内科病棟	46床